



このたび、瑞穂市の重要拠点である J R穂積駅を中心とした将来のまちづくりのための「瑞穂市 J R穂積駅圏域拠点化構想」を策定しました。

この構想は、地方創生の本旨である“地域の活性化や地域でのかせぐ力の創出”を念頭におきながら、瑞穂市 J R穂積駅圏域拠点化構想協議会、専門部会であるワイワイ会議のほか、市内中学生のアンケート等の各種調査や J R穂積駅周辺の地域住民の方への報告会等により、第2次総合計画の重要施策である「市民の参加・参画機会の充実」を進めながら策定しております。

構想策定にあたっては、「駅周辺の住民の方にとって快適な駅周辺」、「J R穂積駅を利用される方にとって利便性の高い駅周辺」、「駅周辺や市内外に関係なく多くの方にとって魅力ある駅周辺」を意識し、頂いた多くの意見から現状の課題と問題点を整理しました。

その結果を『みんなの「心」をつ・つ・む場所 ほづみのエキチカ』～圏域のプラットフォームとして ヒト・モノ・コトを「つ」なぐ・「つ」むぐ・「む」すぶ～ というビジョンとして集約し、3つの基本方針としてまとめました。

【基本方針】

- ①駅への交通利便性の向上、駅周辺の交通環境の改善、地域の魅力づくりによる、みんなを「つなぐ」環境づくり
- ②日常生活が豊かだと感じ、住み続けたいという思いが「つむぐ」場所づくり
- ③誇りに思え、安全・安心で魅力ある駅周辺を目指し、みんなの心を「むすぶ」まちづくり

本構想の策定にあたり、各種分野の方が参画した協議会、自由参加により延べ 300 人の方に参加いただいたワイワイ会議、多くの方にご協力いただいた各種アンケート、中学生に参加いただいたワークショップで寄せられたご意見のみならず、パブリックコメントを含め、多数の「意見書」もいただきました。多くの方が J R穂積駅周辺に関心をもたれていることを感じつつ、構想策定を進めることができましたことに感謝するとともに、厚く御礼申し上げます。

市では、寄せられたご意見・ご提案から感じる皆様の熱い期待に応え、『みんなの「心」をつ・つ・む場所 ほづみのエキチカ』が実現できるよう、今後も皆様とともに取り組んで参ります。

平成29年3月

瑞穂市長

棚橋敏明